

道

～道はいい 道は大好きだ 道を歩いていこう～

アニメ「ほのほの」のセリフです。

「道徳科の評価」こんなふうに使っています。

10月号でお伝えしたように、「特別の教科 道徳」の授業では、多くの授業を繰り返していく中で、そして同時に様々な場面で人との関わりを積み重ねていく中で、長期的に少しずつ生徒の中の道徳性（道徳的な「判断力」「心情」「実践意欲と態度」など）を育てていくことを目標としています。

しかし、それぞれの生徒がどのように道徳性を身に付けているのか、心の中をのぞいて確かめることはできませんし、それぞれに独自の考え方があっていいはずの道徳性を数値的に評価することもできません。

そこで、東中学校では次の5つの視点を基本にしながら、道徳科の授業を通して見取ることのできる生徒の「学習の状況」と「成長の様子」を2つの軸にして学期末の通知表でお伝えする評価内容を作成しています。

【東中学校 「特別の教科 道徳」 評価の視点】



①道徳的価値に対する考えをもっているかどうか。

- ・教材を通して自分なりに道徳的価値を理解しているか。

②多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか。

- ・自分と違う立場や考え方などを理解しようとしているか。
- ・道徳的価値が対立する場面において取るべき行動をさまざまに考えようとしているか。

③理解した道徳的価値を自分との関わりで捉え、深めているかどうか。

- ・読み物資料の登場人物を自分と置き換えて考え、自分の姿をイメージしているか。
- ・これまでや今の自分自身をふり返り、その時の自分の行動や思いを想起しているか。
- ・道徳的価値を実現することの難しさを自分ごととして捉え、考えを深めているか。

④自己の生き方を考え、深めているかどうか。

- ・生き方にかかわる自分の願いや課題を捉えているか。

⑤学習に対して真面目に、真剣に取り組んでいるか。

- ・積極的に挙手や発言をしているか。
- ・友達の発言に耳を傾けているか。
- ・役割演技などに真面目に取り組んでいるか。
- ・話し合いに意欲的に参加しているか。

また、このような視点で評価を作成するにあたり、教師の考えや見取りのみで目に見えない「心」を育む道徳の評価を出すのは難しいという観点から、毎回の授業および各学期の振り返りで使用している「振り返りシート」に記載された生徒本人の言葉も一部載せることで、生徒の「学習の状況」や「成長の様子」がより生き生きと伝わり、温かみのある評価となるよう努めています。道徳の授業を進める中で読ませてもらう「振り返りシート」のコメントには「なるほど、そんなふう考えていたのか」「そういった考え方もあるんだなあ」と教員の私たちが感心させられるものが数多くありますので、保護者の方々にもそういった感覚を少しでも味わっていただけたら幸いです。

具体的な記述内容の流れとしては、

①学期全体を通した「学習の状況」+②特筆すべき授業における「生徒本人の言葉」 +③教師の見取りによる「成長の様子」

となっていますので、以上のことを知っていただいた上で12月24日（金）の通知表に記載されたお子様の「特別の教科 道徳」の評価欄を楽しみにご覧いただければと思います。

12月号では、1学期同様、各学年にて実施された2学期道徳科授業の様子をお伝えさせていただく予定ですので、よろしくお願ひいたします。